



平成20年3月4日

各位
会社名 株式会社ティール・ワイ・オー
代表者名 代表取締役社長兼グループ最高経営責任者
吉田 博昭
(JASDAQ・コード番号: 4358)
問い合わせ先 取締役兼グループ執行役員 経営戦略担当
上窪 弘晃
電話番号 03-5434-1586

平成20年7月期中間（連結）業績予想の修正に関するお知らせ

平成20年7月期中間（平成19年8月1日～平成20年1月31日）の連結業績予想について、平成20年1月21日付「平成20年7月期中間（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

なお、本開示における決算短信数値等は監査法人による監査前数値であるため、監査後決算数値等とは必ずしも一致いたしません。

記

1. 平成20年7月期中間（平成19年8月1日～平成20年1月31日）連結業績予想の修正

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	14,500	700	530	230
今回修正 (B)	14,600	900	740	500
増減額 (B-A)	100	200	210	270
増減率 (%)	0.7	28.6	39.6	117.4

2. 修正理由

当社グループは、事業戦略である独自の「マルチブランド戦略」（当社を事業持株会社とした多数の優秀なコンテンツ制作会社をグループ化する戦略）を実行し、新規会社設立及びM&Aによるグループ拡大を図っております。当中間連結会計期間におきましては、平成19年10月に株式会社円谷プロダクション（以下「円谷プロ」という。）をグループ化するなど、着

実に当社グループの事業戦略を推進した結果、当初予想より業績が増加する見込みとなりました。

売上高につきましては、当中間連結会計期間において円谷プロの「ウルトラマンシリーズ」をはじめとしたキャラクター等のライツビジネスが当初予想より好調に推移したことに伴い、前回予想より100百万円増の14,600百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、上述の売上高における増加要因と、円谷プロにおいて不採算事業部門の統廃合、人件費・地代家賃の削減等、企業再建を積極的に推進した効果が、当初想定より早期に現れたことにより上昇要因に寄与しました。また、平成19年8月1日より当社からTV-CMの企画・制作事業部門を分社化し新設した株式会社TYOプロダクションズにおいて、積極的な営業展開及び制作力の強化を図った結果、利益率の高い大型案件の受注に繋がり連結利益に貢献いたしました。同社においては、新設分割しTV-CMの企画・制作事業により注力できる体制を構築した効果が早くも現れてきています。これらの結果、前回予想より200百万円増の900百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、上述の営業利益における増加要因により210百万円増の740百万円となる見込みであります。

中間純利益につきましては、上述の経常利益における増加要因と、円谷プロが繰越欠損金を抱えているため同社の税務インパクトが低減された結果、前回予想より270百万円増の500百万円となる見込みであります。

なお、平成20年7月期中間個別業績予想については、平成20年1月21日付「平成20年7月期中間（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表した数値から修正はございません。

また、通期（連結・個別）業績予想については現在精査中であり、詳細が確定次第速やかに発表いたします。

3. ご参考：前中間期の実績（平成18年10月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
連結	11,124	398	361	230
個別	3,381	168	441	424

※事業年度の末日を変更したため、前中間期は平成18年10月1日～平成19年3月31日までとなっております。

以上